



フィラデルフィア・アジア・
アメリカン映画祭2018 正式招待作品

自分の場合は「歌いたい」と同時に
「評価されたい」って気持ちがあるけど
やまなみ工房の人たちは「作りたいから作る」
ただそれだけ。

ミュージシャン・向井秀徳

よくぞこの密着を実現した、と
拍手を送りたい。

映画ライター・よしひろまさみち

ラストシーンに映し出されるのは、
この社会への批評である。

HUFFPOST

SUPPORTED BY
日本国際映画祭 DIVERSITY
IN THE ARTS



地蔵とリビドー
JIZOLIBIDO

www.jizolibido.com



「メメハナクチ」「現実との区別が
つかなくなってきた」「地蔵しか
作らないんだって」
独創的なアート作品を生み出し
続ける障害者施設「やまなみ工房」。
いま彼らの作品はアメリカやヨー
ロッパのアート市場を中心に世界的
な注目を集めている。工房に通所す
るのは知的障害や精神疾患を持つ
アーティストたちだ。彼らは実名で
登場し、その日常が包み隠さず描
かれている。
作品がいつ完成するのか、それは
彼ら自身にもわからない。作品が
誰にどう評価されるのか、彼らは
まるで関心がない。ただ衝動のまま
に創作し続ける彼らの姿がそこに
あるだけ。ひとつ事実として言える
のは、作品が彼らと他者との確かな
結節点となっていることだ。ア
ウトサイダーアートに造詣の深い
ジャーナリストや美術関係者へのイ
ンタビュー、障害を持つアーティス
ト自らが語る「精神状態と創作の
関係性」など、彼らの切実な表現欲
求の根源を探るドキュメンタリー。



JIZOLIBIDO
地蔵とリビドー



11月5日 (火)

松山観光港ターミナル 研修室
松山市高浜町 5 丁目 2259-1

① 18:00～ ② 19:50～

鑑賞料 1人 1,200円

詳しくは こくちーずプロ (<https://www.kokuchpro.com/>) 当イベントページをご確認ください。

お問い合わせ先 はぶ・ふあんだんご (代表 樋口)

Email: hub.fandango@gmail.com

寝転びながら割り箸と墨汁だけで
大胆な人物画を描く人。

目、目、鼻、口...と呪文のように唱えながら
土の塊に無数の穴を開ける人。

絵具「紅」を「紅」の絵具の絵具に描く人。
「やれやれやれ」の絵具の絵具に描く人。

JIZOLIBIDO

地蔵とリビドー

呪文、恋心、謎のハミング、解毒剤としてのアート？
不可解で奇妙、でもなぜかグッとくる。

フィラデルフィア・アジア・
アメリカン映画祭 2018
正式招待作品

【出演】

小出由紀子 (アートディレクター)

エドワード M. ゴメズ (RAW VISION 編集局長)

向井秀徳 (ミュージシャン) ほか

監督：笠谷圭見

撮影：野田亮 (apartment film)

TRUCK FILM DESIGN

音楽：イガキアキコ

プロデュース：やまなみ工房 / PR-y

製作プロダクション：RISSI INC.

62min. / 日本語・英語字幕入り

www.jizolibido.com

